

- ． 原子力委員会委員
- ． 新計画策定会議の設置
- ． 技術検討小委員会の設置
- ． 国際問題検討ワーキンググループの設置
- ． 審議経過
- ． 意見募集

．原子力委員会委員

委員長 近藤 駿介

委員 齋藤 伸三（委員長代理）

木元 教子

町 末男

前田 肇

．新計画策定会議の設置

原子力の研究、開発及び利用に関する長期計画の策定について

平成 16 年 6 月 15 日

原子力委員会決定

1．新たな計画策定への着手

原子力基本法は、我が国における原子力の研究、開発及び利用を、平和の目的に限り、安全の確保を旨として、民主的な運営の下に、自主的にこれを行うものとし、その成果を公開し、進んで国際協力に資するものとすることを求めています。

原子力委員会は、この方針に係る国の施策を計画的に遂行するために、原子力の研究、開発及び利用に関する長期計画（以下、「計画」という。）を策定してきました。原子力委員会は、昭和 31 年（1956 年）に最初の計画を策定して以来、計画の進展や策定時との情勢の変化等を踏まえて概ね 5 年毎に計画の評価・見直しを行い、今日に至るまで合計 9 回にわたって計画を策定してきました。現行の計画は、平成 12 年 11 月に策定されたものであり、来年 11 月で 5 年を迎えることになります。

我が国の原子力研究開発利用活動は、ほぼ期待通り進展しているところもありますが、核燃料サイクル事業を中心に遅れが見られます。また、電気事業の自由化の進展や新たに制定されたエネルギー政策基本法に基づくエネルギー基本計画の策定、原子力安全規制体制や企業活動における品質マネジメント体制の強化、原子力二法人の統合、人材育成に対する新しい取り組みの必要性や核不拡散、核物質防護努力の一層の強化の必要性の顕在化など、新たな状況も生じてきています。

こうした状況を踏まえて、原子力委員会は、広聴の精神を踏まえて、本年 1 月より 15 回にわたって「長計についてご意見を聴く会」を開催するとともに、広く国民を対象に「意見募集」を実施し、「第 7 回市民参加懇談会～長計へのご意見を述べていただく場として～」を開催して、新たな計画策定に関して各界各層から提案・意見を聴取してきました。その結果、原子力委員会は、新たな計画を、平成 13 年の中央省庁の再編により原子力委員会が内閣府に属することになってから初めての計画であ

ることにも配慮しつつ、平成 17 年中に取りまとめることを目指して検討を開始することとします。

2. 検討の進め方

(1) 新計画策定会議の設置

- (イ) 策定に必要な事項の調査審議を行い、新たな計画案を策定する新計画策定会議を原子力委員会に設置します。新計画策定会議の委員は別紙のとおりとします。委員は、調査審議に広く国民の意見を反映させるため、原子力委員会が、地方自治体、有識者、市民／ＮＧＯ等、事業者、研究機関から、専門分野、性別、地域のバランス、原子力を巡る意見の多様性の確保に配慮して選んだものです。原子力委員も構成員となります。
- (ロ) 調査審議を円滑に行うため、必要に応じ、新計画策定会議に小委員会等を設けて論点整理等を求めることとします。小委員会等の構成員は原子力委員会が定めることとします。
- (ハ) 調査審議が終了したときには、新計画策定会議及び小委員会等は廃止するものとします。

(2) 審議の進め方

- (イ) 新計画策定会議及び小委員会等は公開とし、また、それらの議事録は会議終了後速やかに作成して公開します。ただし、新計画策定会議または小委員会等の議長が公開しないことが適当であると判断したときは、この限りではありません。
- (ロ) 新計画策定会議の議長は原子力委員長が務めます。
- (ハ) 意見募集や市民参加懇談会の開催等により幅広く国民の意見を聴取して、これを審議に反映させるとともに、必要に応じ特定分野の参考人の出席を求め、意見を聴くこととします。

新計画策定会議構成員

(議長) 近藤 駿介	原子力委員会 委員長
井川 陽次郎	読売新聞東京本社 論説委員
井上 チイ子	生活情報評論家
内山 洋司	筑波大学大学院 システム情報工学研究科 工学専攻 教授
岡崎 俊雄	日本原子力研究所 理事長
岡本 行夫	外交評論家
勝俣 恒久	電気事業連合会 会長 (東京電力株式会社 取締役社長)
河瀬 一治	敦賀市長 (全国原子力発電所所在市町村協議会 会長)
神田 啓治	京都大学名誉教授、エネルギー政策研究所 所長
木元 教子	原子力委員会 委員
草間 朋子	大分県立看護科学大学 学長
児嶋 眞平	福井大学 学長
齋藤 伸三	原子力委員会 委員長代理
笹岡 好和	全国電力関連産業労働組合総連合 会長
佐々木 弘	放送大学 教授
末永 洋一	青森大学総合研究所 所長
住田 裕子	弁護士、獨協大学特任教授
田中 知	東京大学大学院 工学系研究科 教授
千野 境子	産経新聞社 論説委員長
殿塚 猷一	核燃料サイクル開発機構 理事長
中西 友子	東京大学大学院 農学生命科学研究科 教授
庭野 征夫	(社)日本電機工業会 原子力政策委員会 最高顧問 (株式会社東芝 執行役専務)
橋本 昌	茨城県知事
伴 英幸	原子力資料情報室 共同代表
藤 洋作	関西電力株式会社 取締役 (第23回まで)
前田 肇	原子力委員会 委員
町 末男	原子力委員会 委員
松尾 新吾	九州電力株式会社 代表取締役社長 (第24回から)
山地 憲治	東京大学大学院 工学系研究科 教授
山名 元	京都大学 原子炉実験所 教授
吉岡 斉	九州大学大学院 比較社会文化研究院 教授
和気 洋子	慶應義塾大学 商学部 教授
渡辺 光代	日本生活協同組合連合会 理事

(平成17年7月時点) 計32名

1 . 新たな計画策定に求められるもの

新たな計画の策定作業においては、現行計画の評価等を行い、原子力の研究、開発及び利用の基本原則、目標、実施責任主体等を明確にしていくことが重要と考えます。その際、可能な限り定量的に検証するなどにより、政策の妥当性を明らかにしていくことが重要と考えます。

特に、エネルギーとしての原子力利用に係る施策に関しては、行政各部門、研究開発機関、大学、民間が果たすべき短期、中期、長期的役割とこれを達成するために必要な国の規制・誘導施策の基本方針を明らかにする必要があります。

また、放射線や核反応の利用に係る施策に関しても、研究開発の有力なツールとして利用できる放射線発生装置等の整備から産業における利用に至る短・中・長期的課題に対する取り組みのあり方やその実施主体等に関する基本方針を明らかにしていくことが重要です。

このように、新たな計画は、原子力利用に関する国の内外の活動を展望して、短・中・長期的視点から、国の進めるべき施策の基本構想を示すものであることが求められていると考えます。

2 . 新たな計画策定において考えられる検討の視点

エネルギー供給における原子力発電の位置づけ

安全の確保、広聴・広報活動等、国民・社会と原子力の調和の在り方
原子力発電を基幹電源として利用するために必要な政府と民間の役割、及びこれに必要で合理的な核燃料サイクルシステムの在り方

高速増殖炉とその核燃料サイクル技術等、原子力エネルギー利用に係る研究開発の在り方

人類社会の福祉と国民生活の水準向上及び科学技術の発展に向けた、放射線、核反応を用いた原子力科学技術の多様な展開

原子力の研究、開発及び利用を効果的かつ効率的に推進するための国際共同活動及び相互裨益の観点に立った二国間及び多国間協力活動
国際社会と原子力の調和への貢献

．技術検討小委員会の設置

新計画策定会議技術検討小委員会の設置について

平成 16 年 7 月 29 日

1．目 的

新計画策定会議が行う核燃料サイクルの総合評価の準備のため、新計画策定会議の指示する専門技術的事項について検討を行う。

2．構 成

委員は、新計画策定会議委員若干名をもって構成する(別紙)。

新計画策定会議の議長は、議事に参加することができる。

技術的検討に関し専門的知見を有する核燃料サイクル開発機構及びに日本原子力研究所の専門家は、事務局の一員として参加し、委員長の求めに応じて発言することができる。

3．検討内容

新計画策定会議の指示に基づき以下の事項を検討する。

直接処分方法等の概念の整理

これまでの経済性試算の確認

コスト試算の前提及び試算方法の整理

コスト試算

その他専門技術的な事項

4．スケジュール

8 月上旬に第 1 回小委員会を開催する。その後、月に 1～3 回程度開催し、新計画策定会議に検討結果を適宜報告することとする。

5．その他

付託された事項の検討が終了し、新計画策定会議に報告した段階で解散する。

技術検討小委員会委員名簿

委員長 内山 洋司 筑波大学大学院 システム情報工学研究科リスク
工学専攻 教授

佐々木 弘 放送大学 教授

田中 知 東京大学大学院 工学系研究科 教授

伴 英幸 原子力資料情報室 共同代表

藤 洋作 電気事業連合会 会長
(代理 佐竹 誠 東京電力株式会社 常務取締役)

山地 憲治 東京大学大学院 工学系研究科 教授

山名 元 京都大学 原子炉実験所 教授

和気 洋子 慶應義塾大学 商学部 教授

(平成16年10月時点)

．国際問題検討ワーキンググループの設置

新計画策定会議国際問題検討ワーキンググループ（WG）の設置について

平成 17 年 2 月 1 日

原子力委員会決定

1．趣 旨

原子力委員会は、原子力に関する国際問題について専門的な検討を行い、新計画の策定に資するため、新計画策定会議に国際問題検討WGを設置する。

2．構 成

WGの構成は別紙の通りとする。

新計画策定会議の議長及び原子力委員は、議事に参加することができる。

国際問題に関して専門的知見を有する核燃料サイクル開発機構及び日本原子力研究所の専門家は、事務局の一員として参加し、座長の求めに応じて発言することができる。

3．検討内容

国際的な核不拡散の強化に向けた国際展開のあり方

原子力利用に関する国際協力のあり方

原子力利用に関する国際展開のあり方

その他、新計画策定会議が指示する事項について検討を行う。

4．スケジュール

2月に第1回会合を開催する。その後、月に1回程度開催し、4月を目途に、新計画策定会議に対して検討結果を報告することとする。

5．その他

検討が終了し、新計画策定会議に報告した段階で解散する。

国際問題検討WG

岡崎 俊雄 日本原子力研究所 理事長
(代理 若林 利男 日本原子力研究所 国際協力室長(第2回まで))
(代理 竹内 浩 日本原子力研究所 国際協力室長(第3回))

神田 啓治 京都大学名誉教授、エネルギー政策研究所 所長

黒澤 満 大阪大学大学院国際公共政策研究科 教授

鈴木達治郎 電力中央研究所 上席研究員

須藤 隆也 日本国際問題研究所 軍縮・不拡散促進センター所長

宅間 正夫 日本原子力産業会議 副会長

千野 境子 産経新聞社 特別記者 論説委員

(座長)内藤 香 核物質管理センター 専務理事

庭野 征夫 (社)日本電機工業会 原子力政策委員会 委員長
(代理 斎藤 莊蔵 (社)日本電機工業会原子力政策委員会 副委員長
((株)日立製作所 執行役常務))

藤 洋作 電気事業連合会 会長
(代理 武黒 一郎 東京電力(株)常務取締役)

山名 元 京都大学 原子炉実験所 教授

顧問 遠藤 哲也 外務省参与

(平成17年4月時点)

．審議経過

1．新計画策定会議

- 第1回 平成16年6月21日（火）16：00～18：30
（第4合同庁舎 共用220会議室）
議題：1．原子力政策について
2．その他
- 第2回 平成16年7月8日（木）13：00～15：30
（如水会館）
議題：1．原子力を巡る現状と論点
2．その他
- 第3回 平成16年7月16日（金）17：00～19：30
（共用220会議室）
議題：1．原子力政策について
2．その他
- 第4回 平成16年7月29日（木）16：00～18：30
（如水会館）
議題：1．高レベル放射性廃棄物の処分について
2．新計画策定会議 技術検討小委員会の設置について
3．核燃料サイクル政策の評価のための基本シナリオについて
4．その他
- 第5回 平成16年8月11日（水）9：00～11：30
（如水会館）
議題：1．原子力政策について
2．その他
- 第6回 平成16年8月24日（火）14：00～16：30

(如水会館)

議題： 1 . 基本シナリオについて
2 . 基本シナリオの評価
3 . その他

第 7 回 平成 1 6 年 9 月 3 日 (金) 1 6 : 0 0 ~ 1 8 : 3 0
(T I M E 2 4 ビル会議室)

議題： 1 . 基本シナリオの評価
2 . その他

第 8 回 平成 1 6 年 9 月 2 4 日 (金) 1 3 : 0 0 ~ 1 5 : 3 0
(T I M E 2 4 ビル会議室)

議題： 1 . 青森県知事のご意見を聴く会
2 . 基本シナリオの評価
3 . その他

新潟県知事のご意見を聴く会

平成 1 6 年 9 月 2 8 日 (火) 1 1 : 3 0 ~ 1 2 : 0 0
(虎ノ門三井ビル)

議題： 1 . 新潟県知事のご意見
2 . その他

第 9 回 平成 1 6 年 1 0 月 7 日 (木) 1 6 : 0 0 ~ 1 8 ; 3 0
(世界貿易センタービル)

議題： 1 . 基本シナリオの評価
2 . その他

第 1 0 回 平成 1 6 年 1 0 月 2 2 日 (金) 1 0 : 0 0 ~ 1 2 : 3 0
(T I M E 2 4 ビル)

議題： 1 . 福井県知事のご意見を聴く会
2 . 新計画策定会議 (第 1 0 回)
・ 核燃料サイクル政策の論点整理について
・ その他

第 1 1 回 平成 1 6 年 1 1 月 1 日 (水) 9 : 0 0 ~ 1 1 : 3 0
(T I M E 2 4 ビル)

議題 : 1 . 核燃料サイクル政策の論点整理について
2 . その他

第 1 2 回 平成 1 6 年 1 1 月 1 2 日 (金) 1 6 : 0 0 ~ 1 8 : 3 0
(T I M E 2 4 ビル)

議題 : 1 . 核燃料サイクル政策の論点整理について
2 . その他

第 1 3 回 平成 1 6 年 1 1 月 2 4 日 (水) 1 6 : 0 0 ~ 1 8 : 3 0
(T I M E 2 4 ビル)

議題 : 1 . 原子力発電について
2 . その他

第 1 4 回 平成 1 6 年 1 2 月 1 0 日 (金) 9 : 0 0 ~ 1 1 : 3 0
(T I M E 2 4 ビル)

議題 : 1 . 原子力発電について
2 . その他

第 1 5 回 平成 1 6 年 1 2 月 2 2 日 (水) 1 4 : 0 0 ~ 1 6 : 3 0
(T I M E 2 4 ビル)

議題 : 1 . 福島県知事のご意見を聴く会
2 . 新計画策定会議 (第 1 5 回)
・原子力発電について
・その他

第 1 6 回 平成 1 7 年 1 月 1 3 日 (木) 1 5 : 3 0 ~ 1 8 : 3 0
(T I M E 2 4 ビル)

議題 : 1 . 双葉町長、美浜町長のご意見を聴く会
2 . 新計画策定会議 (第 1 6 回)
・原子力発電について

- ・ F B R サイクルについて
- ・ その他

第 1 7 回 平成 1 7 年 1 月 2 8 日 (金) 1 3 : 3 0 ~ 1 6 : 0 0
(T I M E 2 4 ビル)
議題 : 1 . F B R サイクルについて
2 . その他

第 1 8 回 平成 1 7 年 2 月 1 0 日 (木) 1 6 : 0 0 ~ 1 8 : 3 0
(都市センターホテル)
議題 : 1 . F B R サイクルについて
2 . 放射性廃棄物について
3 . その他

第 1 9 回 平成 1 7 年 2 月 2 3 日 (水) 9 : 0 0 ~ 1 1 : 3 0
(T I M E 2 4 ビル)
議題 : 1 . 放射性廃棄物について
2 . 放射線利用について
3 . その他

第 2 0 回 平成 1 7 年 3 月 4 日 (金) 9 : 0 0 ~ 1 1 : 3 0
(T I M E 2 4 ビル)
議題 : 1 . 研究開発の今後のあり方について
2 . その他

第 2 1 回 平成 1 7 年 3 月 1 6 日 (水) 1 4 : 0 0 ~ 1 6 : 3 0
(T I M E 2 4 ビル)
議題 : 1 . エネルギーと原子力発電
2 . その他

第 2 2 回 平成 1 7 年 3 月 2 9 日 (火) 1 4 : 0 0 ~ 1 6 : 3 0
(都市センターホテル)
議題 : 1 . エネルギーと原子力発電

2. その他

第23回 平成17年4月14日(木) 10:00～12:30

(共用220会議室)

議題: 1. 研究開発・放射線利用について

2. その他

第24回 平成17年4月27日(水) 14:30～17:00

(如水会館)

議題: 1. 研究開発・放射性利用について

2. 人材の確保について

3. その他

第25回 平成17年4月28日(木) 9:30～12:00

(如水会館)

議題: 1. 国際問題について

2. その他

第26回 平成17年5月12日(木) 14:00～16:30

(共用220会議室)

議題: 1. 人材の養成及び確保について

2. 国際問題について

3. 国民・社会と原子力の調和について

4. その他

第27回 平成17年5月24日(火) 13:00～15:30

(TIME 24ビル)

議題: 1. 原子力に関する国際問題について

2. 原子力の国民・社会との共生について

3. その他(新計画の構成について)

第28回 平成17年6月7日(火) 16:00～18:30

(総合学術センター)

議題： 1．新計画の構成について
2．その他

第 2 9 回 平成 1 7 年 6 月 3 0 日（木） 1 6：0 0～1 8：3 0
（都市センターホテル）

議題： 1．新計画について
2．その他

第 3 0 回 平成 1 7 年 7 月 1 5 日（金） 9：3 0～1 2：0 0
（ホテルフロラシオン青山）

議題： 1．新計画について
2．その他

第 3 1 回 平成 1 7 年 7 月 2 8 日（木） 1 6：0 0～1 8：3 0
（TIME 2 4 ビル）

議題： 1．新計画について
2．その他

（平成 1 7 年 7 月 2 8 日時点）

2．技術検討小委員会

第 1 回 平成 1 6 年 8 月 1 0 日（火）1 0：0 0～1 2：3 0

（如水会館）

- 議題：1．検討課題の確認
2．過去のコスト試算・分析の確認
3．直接処分に関する検討（1）
4．その他

第 2 回 平成 1 6 年 8 月 2 4 日（火）1 0：0 0～1 2：3 0

（如水会館）

- 議題：1．「わが国における高レベル放射性廃棄物地層処分の
技術的信頼性 - 地層処分研究開発第 2 次とりまと
め - 」に関する概要説明
2．直接処分の概念について
3．その他

第 3 回 平成 1 6 年 8 月 3 1 日（火）1 4：0 0～1 6：3 0

（如水会館）

- 議題：1．直接処分に関する評価について
2．核燃料サイクルコストの計算方法について
3．その他

第 4 回 平成 1 6 年 9 月 1 0 日（金）1 0：0 0～1 2：3 0

（如水会館）

- 議題：1．直接処分コストの計算方法について
2．核燃料サイクルコストの計算方法について
3．その他

第 5 回 平成 1 6 年 9 月 2 4 日（金）9：0 0～1 1：3 0

（T I M E 2 4 ビル会議室）

- 議題：1．使用済燃料の直接処分場の概念について
2．その他

第 6 回 平成 1 6 年 1 0 月 7 日（木） 1 0 : 0 0 ~ 1 2 : 3 0
 （世界貿易センタービル）

議題： 1 ．使用済燃料の直接処分コスト及び核燃料サイクルコ
 ストについて
 2 ．その他

3．国際問題検討WG

第1回 平成17年2月21日（月）10：00～12：30
（虎ノ門三井ビル）

議題：1．検討課題の確認
2．核不拡散について
3．その他

第2回 平成17年3月16日（水）9：30～12：00
（TIME24ビル）

議題：1．原子力利用に関する国際協力のあり方
2．その他

第3回 平成17年4月11日（水）14：00～16：30
（虎ノ門三井ビル）

議題：1．原子力に関する国際展開のあり方
2．論点の整理
3．その他

4．長計についてご意見を聴く会

第 1 回 平成 16 年 1 月 28 日（水）19:00～21:00

（場所：虎ノ門三井ビル 2 階 原子力安全委員会 第 1、2 会議室）

・内山洋司（筑波大学教授）

「将来のエネルギー需給の展望 - エネルギー基本計画と今後の課題 - 」

・山地憲治（東京大学教授）

「地球温暖化対策における原子力の意義 - 定量的政策評価の事例として - 」

（発表順）

第 2 回 平成 16 年 2 月 9 日（月）18:30～20:00

（場所：虎ノ門三井ビル 2 階 原子力安全委員会 第 1、2 会議室）

・寺島実郎（三井物産戦略研究所所長）

「日本のエネルギー戦略への基本視点」

第 3 回 平成 16 年 2 月 16 日（月）10:00～12:30

（場所：全国町村会館（永田町） ホール A ）

議題：原子力と社会のかかわり

・村上陽一郎（国際基督教大学大学院教授）

「原子力と社会のかかわり - 安全と安心 - 」

・長谷川公一（東北大学大学院教授）

「原子力と社会のかかわり - 原子力発電に関する社会的合意形成をめぐる諸問題 - 」

（発表順）

第 4 回 平成 16 年 2 月 23 日（月）14:00～15:30

（場所：虎ノ門三井ビル 2 階 原子力安全委員会 第 1、2 会議室）

・佐和隆光（京都大学経済研究所所長）

「電力自由化のもとでの原子力発電のあり方」

第 5 回 平成 16 年 3 月 2 日（火）10:30～12:30

(場所：虎ノ門三井ビル2階 原子力安全委員会 第1、2会議室)

・飯田哲也 (環境エネルギー政策研究所所長)

「原子力政策の今後の課題～持続可能なエネルギー政策の視点から」

・マイケル・シュナイダー Mycle Schneider (科学ジャーナリスト)

「From Nuclear Dream to Plutonium Nightmare?

Status and Outlook of Nuclear Power and Plutonium Industries」

(発表順)

第6回 平成16年3月8日(月) 14:00～17:00

(場所：虎ノ門三井ビル2階 原子力安全委員会 第1、2会議室)

議題：原子力長期計画について

・竹内敬二 (朝日新聞論説委員)

「67路線を変える年」

・飯田浩史 (産経新聞論説顧問)

「長計の議論にあたって」

・塩谷喜雄 (日本経済新聞論説委員)

・菊池哲郎 (毎日新聞論説委員長)

・井川陽次郎 (読売新聞論説委員)

「原子力長計の改定についての意見」

(発表順)

第7回 平成16年3月12日(金) 13:00～14:30

(場所：虎ノ門三井ビル2階 原子力安全委員会 第1、2会議室)

・柏木孝夫 (東京農工大学大学院教授)

「原子力委員会・長計についての私見」

第8回 平成16年3月16日(火) 10:30～12:00

(場所：虎ノ門三井ビル2階 原子力安全委員会 第1、2会議室)

・植田和弘 (京都大学大学院教授)

「原子力発電の環境経済・政策的諸問題」

第 9 回 平成 16 年 3 月 18 日 (木) 15:00 ~ 16:30

(場所 : 虎ノ門三井ビル 2 階 原子力安全委員会 第 1、2 会議室)

・ 小林 傳司 (タダシ) (南山大学教授)

「なぜ市民参加が必要になっているのか」

第 10 回 平成 16 年 3 月 30 日 (火) 14:00 ~ 15:30

(場所 : 虎ノ門三井ビル 2 階 原子力安全委員会 第 1、2 会議室)

・ 児島 伊佐美 (電事連)

「原子力長計に期待すること」

第 11 回 平成 16 年 4 月 14 日 (水) 10:00 ~ 11:30

(場所 : 虎ノ門三井ビル 2 階 原子力安全委員会 第 1、2 会議室)

・ 内藤 正久 (日本エネルギー経済研究所理事長)

「原子力長計の検討にあたり要望したい事項 (私見)」

第 12 回 平成 16 年 4 月 14 日 (水) 14:00 ~ 15:30

(場所 : 虎ノ門三井ビル 2 階 原子力安全委員会 第 1、2 会議室)

・ 橋本 昌 (茨城県知事)

「原子力長期計画について」

第 13 回 平成 16 年 4 月 15 日 (木) 10:00 ~ 12:00

(場所 : 虎ノ門三井ビル 2 階 原子力安全委員会 第 1、2 会議室)

・ 木村 逸郎 (㈱原子力安全システム研究所技術システム研究所長

日本学術会議会員、京都大学名誉教授)

「原子力学の再構築」

・ 田中 知 (東京大学教授、日本学術会議研連幹事)

「大学における原子力研究・教育の新しい取組」

・ 藤井 靖彦 (東京工業大学教授、日本学術会議会員)

「原子力の人材養成と産学官・地域連携」

(発表順)

第 14 回 平成 16 年 4 月 22 日 (木) 10:00 ~ 12:00

(場所 : 虎ノ門三井ビル 2 階 原子力安全委員会 第 1、2 会議室)

議題：原子力長期計画について

- ・ 秋庭悦子（消費生活アドバイザー）
「原子力長期計画への意見 国民の理解と信頼を得るために」
- ・ 伊東依久子（消費科学連合会 副会長）
- ・ 三村光代（消費生活アドバイザー・コンサルタント協会 監事）
「原子力委員会長期計画について意見を聴く会での意見要旨」
- ・ 渡辺光代（日本生協連 理事）
「原子力委員会・長計についてご意見を聴く会（メモ）」
（発表順）

第 15 回 平成 16 年 6 月 1 日（火）14:00～16:00

（場所：中央合同庁舎 4 号館 6 階 643 会議室）

- ・ スティーブ・フェッター（Dr. Steve Fetter）（メリーランド大学教授）
「The Economics of Reprocessing and Recycle V.
Direct Disposal」

第 16 回 平成 16 年 10 月 4 日（月）10:00～12:00

（場所：虎ノ門三井ビル 2 階 原子力安全委員会 第 1、2 会議室）

- ・ フランク・フォン・ヒッペル（Dr. Frank von Hippel）
（プリンストン大学教授）
「Reducing fissile-material stocks for nuclear
disarmament and to reduce the dangers of
proliferation and nuclear terrorism」

第 17 回〔青森〕 平成 16 年 10 月 20 日（水）17:00～19:00

（場所：青森グランドホテル 平安の間）

議題：核燃料サイクル政策について

- ・ 芦野英子（弘前市）
- ・ 荒木茂信（東北町）
- ・ 木村将人（尾上町）
- ・ 岨清悦（天間林村）
- ・ 二本柳晴子（六ヶ所村）

・三笠朋子（八戸市）

（発表順）

第 18 回〔名古屋〕 平成 16 年 11 月 10 日（水）13：30～15：30

（場所：第二豊田ビル 西館 8 階 第二豊田ホール）

議題：原子力長期計画について

・油田淑子（全国消費生活相談員協会監事）

「原子力新長期計画策定に望むこと」

・飯尾歩（中日新聞論説委員）

・飯尾正和（岐阜県先端科学技術体験センター（サイエンスワールド）館長）

・榎田洋一（名古屋大学エコトピア科学研究機構教授）

「原子力開発に関わる要望」

・兼松秀代（岐阜県岐阜市在住）

「原子力はなぜ信頼されないか

- 私が体験した原子力事業および原子力政策から - 」

（発表順）

第 19 回 平成 17 年 1 月 20 日（木）14：00～16：00

（虎ノ門三井ビル）

・ベルナール・タンチュリエ（Mr. Bernard Tinturier）

（フランス電力公社（EDF）会長付顧問）

「Nuclear Energy in France Achievement Main Prospects and Challenges」

第 20 回 平成 17 年 1 月 21 日（金）14：00～16：30

（TIME 24 ビル）

議題：放射線利用について

・加藤義章（日本原子力研究所理事）

「放射線の科学技術・学術利用の新たな展開」

・辻井博彦（放射線医学総合研究所重粒子医科学センター長）

「放射線の医学利用の現状と課題」

・中川仁（農業生物資源研究所放射線育種場場長）

- 「放射線育種場のこれまでの成果と研究の展開」
- ・奥部滋朗（住友ファインポリマー（株））
- 「放射線の産業利用について」
- ・碧海西葵（消費生活アドバイザー）
- 「原子力の平和的な利用 放射線と食生活のかかわり」
- （発表順）

第 2 1 回 平成 1 7 年 3 月 2 日（水）1 0 : 0 0 ~ 1 2 : 3 0
 （虎ノ門三井ビル）

議題：研究開発について

- ・後藤晃（東京大学先端科学技術研究センター教授）
- 「研究開発のあり方と技術政策」
- ・中川晴夫（社団法人日本電機工業会原子力部長）
- 「産業界の期待する原子力研究開発」
- ・代谷誠治（京都大学原子炉実験所教授）
- 「大学人の考える原子力研究開発のあり方」
- ・田中俊一（日本原子力研究所副理事長）
- 「原子力利用の新たな概念、革新的技術を創出し、新たな科学技術を拓く - 原子力基礎・基盤研究 - 」
- （発表順）

．意見募集

1 ．「新計画の構成」への意見募集結果

(1) 募集期間：平成 1 7 年 6 月 9 日 (木) ～ 6 月 2 4 日 (金) 1 7 時まで (1 6 日間)

(2) 提出方法：氏名、年齢、性別、所属 (会社名・学校名等又は職業)、連絡先 (住所、電話番号、F A X 番号、電子メールアドレス) とともに、意見の対象箇所、意見及び理由を記入し、郵送、ファクス、電子メールにより事務局に送付

(3) 意見処理：意見は、氏名、年齢、性別、所属、連絡先を除き原文を新計画策定会議の資料として公表

(4) 応募状況

- ・意見総数　： 7 5 8 件 (郵送 6 2 件、ファクス 1 2 1 件、電子メール 5 7 5 件)
- ・応募者総数： 3 9 3 名